

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/7/29	50348	バクスター株式会社	加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効成分	無	有	無			
2005/7/29	50349	バクスター株式会社	活性化プロトロンビン複合体濃縮製剤	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子阻害物質補正活性化複合体	人血漿	米国	有効成分	無	有	無			
2005/7/29	50350	バクスター株式会社	活性化プロトロンビン複合体濃縮製剤	ヘパリンナトリウム	ブタ胃	該当なし	添加物	無	有	無			
2005/8/5	50351	日本オルガノン株式会社	酢酸ソマトレリン	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	無	無	無			
2005/8/5	50352	中外製薬株式会社	エポエチンベータ(遺伝子組換え)	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50353	中外製薬株式会社	エポエチンベータ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50354	中外製薬株式会社	該当しない	Bacto Tedd Hewitt Broth	ウシ心臓、骨格筋、骨髓、脂肪組織、結合組織、乳、ブタ心臓、膵臓、胃	ウシ: 米国、オーストラリア、ニュージーランド、ブタ: 米国、イタリア、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50355	中外製薬株式会社	該当しない	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50356	中外製薬株式会社	該当しない	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50357	中外製薬株式会社	該当しなし	牛肉	ウシ骨格筋	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50358	中外製薬株式会社	該当しない	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	溶連菌抽出物注射用	-	有効成分	無	無	無			
2005/8/8	50359	ノボノルディスクファーマ株式会社	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	該当しない	有効成分	無	有	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/8	50360	ノボノルディスクファーマ株式会社	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	ニュージーランド、米国又はカナダ	製造工程	無	有	無			
2005/8/8	50361	ノボノルディスクファーマ株式会社	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ新生仔血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	有	無			
2005/8/8	50362	ノボノルディスクファーマ株式会社	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ブタ膵臓由来トリプシン	ブタ膵臓(抽出物)	該当しない	製造工程	無	有	無			
2005/8/10	50363	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会 (2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性が示された。
											マールブルグ病	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
											ウイルス感染	Transfusion 2005;45(4):500-3	米国で1986年から1990年に輸血による病原体の感染率の研究に参加した患者406例から術前と術後6ヶ月目に血清採取しHHV-8の血清状態を測定した結果。米国における血液製剤を介したHHV-8伝播を示唆する最初の報告である。
											髄膜炎感染	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	米国でリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス感染により臓器移植患者3名が死亡。ドナーはツペットのハムスターから感染した可能性がある。
2005/8/11	50364	デンカ生研株式会社	発疹チフスワクチン	卵黄囊	ニワトリの受精卵	該当なし	製造工程	無	無	無			
2005/8/11	50365	日研化学株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	無	無	無			
2005/8/12	50366	株式会社ベネシス	人血清アルブミン 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 人ハプトグロビン 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/12	50367	株式会社ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	人尿	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	RIVM rapport 630940003. Bilthoven: RIVM	2003年、オランダのH7N7鳥インフルエンザアウトブレイクコントロール期間内のリスクファクター、健康、福祉、ヘルスケアニーズと予防措置に関する調査結果。調査対象となった養鶏場従業員関係者の約千人が鳥インフルエンザに感染していた。調査結果の主な内容:①抗ウイルス薬のオセルタミビルは感染防御効果が見られたが、マスクやゴーグルでは見られなかった。②発症した453人の主要症状は結膜炎で、そのうち89人から鳥インフルエンザウイルスが検出され、そのうち3人は家禽との接触はなく、感染した人との接触のみであった。③感染した家禽業者と接触した家族の59%で抗体が検出された。④流行中感染した家禽と接触した500人のうち約50%に抗体が検出された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、膵臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒトヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											デング熱	Nephrology Dialysis Transplantation 2005; 20(2)447-8	デング熱の既往のあるドナーから、生体腎移植を受けたレシピエントが、腎移植後5日目に発熱を初発症状とする劇症のデング熱を発現したとの報告。
											HIV	The New York City Department of Health and Mental Hygiene Press Release 11 Feb 2005	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(7):686-91	H5N1インフルエンザの臨床スペクトルに属する疾患について、これまで考えられていた範囲よりも、より広い範囲にわたるものであることが示唆された事例。
											ニパウイルス	Health and Science Bulletin,2(2),2004	2004年2月19日～4月16日にバングラデシュ Faridpur地区の住民36人がニパウイルスに感染し、27人が死亡した。患者23人の血清中にニパウイルスのIgM抗体が確認され、患者数名の喉拭き取りサンプルからニパウイルスRNAが検出された。濃厚接触のあったこれらの患者の家族間などに飛沫感染によると思われるヒトからヒトへのニパウイルス感染拡大が見られた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ハンタウイルス	Microbiology and Immunology 2004;48 (11):843	2000年～2003年の日本各地におけるげっ歯類のハンタウイルス感染についての疫学調査結果。
											HTLV	The New York Times, February 26, 2005	アメリカの科学者は2005年2月25日、AIDSを起こすウイルスと同じレトロウイルスに属する2つの新しいヒトのウイルスを発見したと述べた。これらのウイルスは、サル及び他の霊長動物を狩猟するカメルーンの地方の人々に見出され、狩猟、食肉化、ペットとして飼ったときに咬まれたり引っ掻かれたりして、血液を介して伝播した可能性がある。第12回Annual Retrovirus Conferenceにおいて公表された。これらのレトロウイルスをHTLV-3及びHTLV-4と名づけたが、従来のHIVやHTLVと似ているのかまだ判っておらず、ヒトにどの程度伝播するのかカメルーンのヒト4000人について更に検査する計画である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	PNAS,102(9),3501/2005	CDI法はプロテアーゼ処理の必要が無い測定法であるために、プロテアーゼ抵抗性プリオン蛋白質(rPrPsc)もプロテアーゼ感受性プリオン蛋白質(sPrPsc)も両方の異常プリオン蛋白質(PrPsc)を測定できる唯一のイムノアッセイ法である。大多数のイムノアッセイ法では、孤発性CJD(sCJD)患者の脳の灰白質及び白質の両方で全PrPscの90%あまりを占めるsPrPscが正常プリオン蛋白質(PrPc)を除去するためのプロテアーゼ処理中に消化されてしまうことにより、PrPsc量を過小評価することになることが明らかとなった。孤発性CJD患者8人から18の脳部位が組織学法、免疫組織化学法(IHC)、CDI法で検索したところ、それぞれ3部位(17%)、4部位(22%)、18部位(100%)が陽性であり、CDIはより高感度であるため、IHCが免疫診断技法の中でスタンダードとして使用されるべきでない。扁桃や虫垂がIHCによってのみ評価されているため、検出しそこなっている可能性がある。多数のプリオンサンプルをCDIで検査することによって、プリオン病の疫学が変わるかもしれない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											マールブルグ病	WHO/CSR 2005年3月23日	アンゴラにおけるウイルス性出血性熱の流行の病原体は、マールブルグウイルスであることが確認された。3月21日に死亡した12症例のうち9例からこのウイルスが検出された。2004年10月以降現在まで102名が感染し、95名が死亡している。これまでにマールブルグウイルス感染症例は、1967年にウガンダから輸入した感染サルに接触したドイツ及びユーゴスラビアの検査技師31人(7人死亡)、1975年にジンバブエで3人(1人死亡)、1980年にケニアで2人(1人死亡)、1987年にケニアで1人(1人死亡)、1998年～2000年にコンゴで149人(123人死亡)が報告されている。このウイルス感染症の発生は大変まれでアフリカ大陸南部の国に限定されるように思われる。ヒト-ヒト感染が可能で、患者のケア中にしばしば起きる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	International Journal of Epidemiology 2005;34:46-52	フランスはvCJD症例数が世界で2番目に高い国であり、英国から輸入した牛肉(英国の牛肉総輸出量の60%がフランスに輸出)によるBSEの曝露がその主な原因と考えられる。フランスにおける将来のvCJD発症数を、感染性のある牛肉製品の接種量や1980～1995年に英国に滞在した期間などのシミュレーションから予測した。シミュレーション結果から将来のvCJD発症数は33症例と予測された。英国での滞在期間はvCJD発症数に影響を及ぼさなかった。
											マラリア	Vox Sanguinis 2005 ;88(3):200-1	現在のドナー選択ガイドライン基準を満たし、また8年間以上英国を出国していないガーナからの供血者による輸血マラリア感染
											ウエストナイルウイルス	CBER Guidance for Industry April 2005	本ガイダンス案は、FDAが先に発行した2003年5月付のWNV感染した血液ドナーに関するガイダンスの改訂案である。今回は「発熱を伴った頭痛」を有するドナーは供血禁止とされず、また、再登録には個別NATで陰性の確認が必要などの変更点があげられている。
											ウイルス感染	Transfusion 2005;45(4): 500-3	米国で1986年から1990年に輸血による病原体の感染率の研究に参加した患者406例から術前と術後6ヶ月目に血清採取しHHV-8の血清状態を測定した結果。米国における血液製剤を介したHHV-8伝播を示唆する最初の報告である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell 2005;121(2):195-206	異常プリオン蛋白質をin vitroで生成することができ、プリオン伝播が蛋白質のみにより起こる仮説を支持する強力な証拠と考えられる研究。
2005/8/12	50368	持田製薬株式会社	インターフェロンβ	インスリン	ウシ脾臓	米国	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日刊薬業第11740号 20051月3日28日付	薬食審査会はワイスの間節リウマチ治療薬「エンブレル」投与中にCJDを発症した海外症例2例について審議し、vCJDである可能性は低いと考えられるため、販売を見合わせる根拠とはならないと判断した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	UCDA STATEMENT 2005年6月29日付	米国農務省によると、2005年6月第4週にBSE検査陽性と同定されたウシについてDNA検査をおこない、このウシはテキサス州内で飼育され、年齢が12歳前後であったことが確認された。
2005/8/12	50369	持田製薬株式会社	インターフェロンβ	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日刊薬業第11740号 20051月3日28日付	薬食審査会はワイスの間節リウマチ治療薬「エンブレル」投与中にCJDを発症した海外症例2例について審議し、vCJDである可能性は低いと考えられるため、販売を見合わせる根拠とはならないと判断した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	UCDA STATEMENT 2005年6月29日付	米国農務省によると、2005年6月第4週にBSE検査陽性と同定されたウシについてDNA検査をおこない、このウシはテキサス州内で飼育され、年齢が12歳前後であったことが確認された。
2005/8/12	50370	持田製薬株式会社	インターフェロンα	ウシ胎仔血清	ウシ胎仔血液	オーストラリア	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日刊薬業第11740号 20051月3日28日付	薬食審査会はワイスの間節リウマチ治療薬「エンブレル」投与中にCJDを発症した海外症例2例について審議し、vCJDである可能性は低いと考えられるため、販売を見合わせる根拠とはならないと判断した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	UCDA STATEMENT 2005年6月29日付	米国農務省によると、2005年6月第4週にBSE検査陽性と同定されたウシについてDNA検査をおこない、このウシはテキサス州内で飼育され、年齢が12歳前後であったことが確認された。
2005/8/12	50371	持田製薬株式会社	インターフェロンα	人血清アルブミン	ヒト血液	①②③米国、④日本	添加物・製造工程	有	無	無	ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会(2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性を示した研究。
											コロナウイルス感染	J of Infectious Diseases 2005;191(4):499-502	New Haven コロナウイルス(HCoV-NH)という新規のヒトコロナウイルスが典型的な川崎病の6ヶ月令の小児の呼吸器分泌液に存在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒトヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											トリパノソーマ症	The Weekly Epidemiological Record 2005;80(7):61-4	インドにおける新型のヒトでのトリパノソーマ症の報告
											レトロウイルス	Reuters Foundation AlertNet,Newsdesk 26 Feb 2005	これまで人間では感染が認められていなかったレトロウイルス(HTLV-3及びHTLV-4)がカメルーンで日常的にサルを狩猟している人々から発見された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005;11(8):7-8	モロッコで最初のvCJD患者について。この男性は定期的にヨーロッパを訪問していた。
											マールブルグ病	WHO/CSR 2005年4月21日	2005年4月19日現在、アンゴラ保健省はマールブルグ出血熱症例266例を報告。うち239例は死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Seattle Post seattlepi.com news 21 Apr 2005	オランダで最初のvCJD患者について。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Ministerio da saude Direccao-Geral da Saude Comunicado, lisboa (2005年6月9日付)	保健監督局に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病のはじめての可能性例が検査診断結果と共に報告された。この他には本疾患の症例はなく、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病が疑われるような症状の例もないとの通知書。
2005/8/12	50372	持田製薬株式会社	インターフェロンβ	トリプシン	ブタ膀胱	-	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	OIE 2005年5月27日号 Vol.18 No.21	インドネシアBanten州の2つの村で、ブタにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスタイプH5N1感染のアウトブレイクが報告された。
2005/8/12	50373	持田製薬株式会社	インターフェロンβ	カルボキシペプチダーゼ	ブタ膀胱	米国	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	OIE 2005年5月27日号 Vol.18 No.21	インドネシアBanten州の2つの村で、ブタにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスタイプH5N1感染のアウトブレイクが報告された。
2005/8/12	50374	持田製薬株式会社	日本薬局方ヘパリンナトリウム注射液	日局ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	フランス	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	OIE 2005年5月27日号 Vol.18 No.21	インドネシアBanten州の2つの村で、ブタにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスタイプH5N1感染のアウトブレイクが報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/12	50375	株式会社日本生物製剤	胎盤加水分解物	胎盤加水分解物	ヒト胎盤	日本	有効成分	有	無	無	HIV感染、C型肝炎	日経新聞 2004年12月19日	厚生労働省の調査によると、日本におけるHIV患者4877例のうちの20%近くがC型肝炎ウイルス(HCV)に感染。血液製剤を介して感染したHIV患者811例のほぼ全員がHCVに感染。日本には推定150万人のHCV感染患者がいる。
											C型肝炎	英国保健省 Publications and statistics, 2004/0426, 2004年12月8日	C型肝炎についての新たな公衆衛生キャンペーンが今後2年間にわたり、C型肝炎の知識を増加し、ウイルスの伝播様式、感染症回避するための啓蒙が行なわれる予定。イングランドでは約20万人が慢性感染だが、多くは感染に気がついていないこと、症例の約55%が治療に対して反応するため、リスクが高い患者は検査を受けることが重要であることなどが記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	英国保健省 Publications and statistics, 2004年12月6日	2004年12月6日現在での変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の死亡症例、生存症例等の概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	SCIEH Weekly Report, Vol.38(2004/49)300 (2004)	2004年12月1日、スコットランド首席医務官がスコットランドのNHSに対してクロイツフェルト・ヤコブ病および牛海綿状脳症(BSE)のような伝達性海綿状脳症(TSE)の安全な取り扱いに関する医療従事者および研究所従事者に対するガイダンスが更新され、イングランド保健省のCJDウェブサイトで発表されたと通知する書簡を発行したことなどについて記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	SCIEH Weekly Report, Vol.38(2004/49)300 (2004)	2004年11月22日、英国人獣共通感染症報告書(2003年)が発行された。人獣共通感染症には食品媒介感染症・水系感染症の Campylobacter, Salmonella, ペロ毒素産生 Escherichia coli O157 (VTEC O157) および Cryptosporidium, および動物の主な届出人獣共通感染症である牛結核、ブルセラ症、炭疽、狂犬病およびBSEなどを調査対象としている。またトリインフルエンザ、西ナイルウイルスについての項目も設けられている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed.2004年12月6日	輸血用血液の安全性確保に関して懸念が高まっているが、英国国立血液サービス(English National Blood Service)の国立輸血微生物学研究所によれば、vCJDの病因である感染性の異常プリオンが、輸血によって伝播される可能性を示唆する証拠が増えている。London大学の研究チームによる、ヒトプリオン蛋白発現トランスジェニックマウスへの異常プリオン感染実験の結果、すべてのヒトがBSEの異常プリオンに感受性があると判明。プリオン病は、トランスジェニックマウスでの遺伝子型によって表現型が変化する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed.2004年12月8日	1986年にBSEが同定されて以来、183000頭以上のBSE症例が英国内で確認された。そのうちの95%以上が2000年以前に確認されたが、今年の新規症例数は最低レベルとなっている。日本の動物衛生研究所は94か月令のBSEウシの末梢神経組織と副腎から、BSEの原因物質である異常プリオン蛋白を検出。ポルトガルの生きたウシ、牛肉および関連する家畜製品輸出制限が解除された。
											HIV	WHO Weekly epidemiological record, Vol.79, No. 50, 441-449-2004	WHOおよびUNAIDSは2004年末のHIV/AIDS感染者(PLWHA)は3940万人(3590万~4430万人)となると推定している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	SCIEH Weekly Report, Vol.38 (2004/50) 304 (2004)	2004年12月1日、スコットランド大臣は高令のウシに関しフードチェーンへの入り込みの自動的な禁止を解除し、かわりに正確なBSE検査レジメンに置き換える考えを発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.tga.gov.au/docs/html/tsepolicy.htm	医薬品および医療用具を介した伝染性海綿状脳症(TSE)リスク低減へのTGAの取り組み(新製品の申請には動物およびヒト由来製品においてはBSEの発生していない国の原料を使用すること、これが不可能な場合には材料のTSEの安全性の評価を行うことなど)、医療用製品におけるTSEリスク低減の要件の追補。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed.2004年12月11日	フランス産ヤギでウシ海綿状脳症(BSE)疑い所見が得られたとの欧州委員会による発表を受けて、EC規則999/2001に対する妥当な改正案に関してコメントが求められていた。こうした規則改正は、感染疑い動物でBSEが診断確定した場合にのみ実施される。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	http://www.aabb.org/Pressroom/In_the_News/new12-17.htm	血液採取施設に対し、共通感染源によることが知られているまたは疑われているA型肝炎(HAV)感染のアウトブレイクに関連しているドナーおよび血液製品の管理についての情報が提供される。HAVへ最後に暴露された可能性のある日から120日間、献血は延期しなければならない
											HIV	HIV and AIDS in african communities 英国保健省 2005	英国におけるHIVおよびAIDSはアフリカ人コミュニティに偏っており、これは英国における流行パターンにも反映されていることなどについて記載されている。
											HIV	CDRWeekly,Vol.14 No. 52 (2004)	英国のデータでは、2004年の第3四半期までに3302例のHIV感染の新規診断および報告があり、1982年以降英国における総HIV診断数は66554例になったこと、現在までに20778例がAIDSと診断されていること、感染経路(男性間の性交渉、静注薬物使用者など)、感染地域などについて記載されている。
											C型肝炎	Pro Med.2005/1/5	当局は、C型肝炎で死亡した患者の感染源を、負荷試験や他の通常の診断検査時に血液中に注射される放射線同位元素テクネチウム99m(99mTc)の注射が感染源であったと追跡した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med2005/1/2	カナダ食品検査局(CFIA)は、アルバータ州の高齢の乳牛が検査で牛海綿状脳症(BSE)陽性となったことを確認した。このウシは、飼料規制以前に汚染された飼料から感染したと考えられている。
											A型肝炎	Pro Med2004/12/27	ムルマンスク地域のApatit市民130名がA型現時点で肝炎と診断されている。患者数は日に日に増加し、疫学者らは、上水道が感染源であると示唆している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med2004/12/30	カナダ食品検査局は、新たなBSE疑い症例を検知したと発表。12月30日午前発表。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information,Vol. 18 No.2 2005/1/7	民間の獣医師が「歩行不能」"downer"ウシを報告し、牧場レベルでの4Dすなわち、病気、瀕死、歩行不能および死亡したウシに重点を置いた牛海綿状脳症監視計画の一環として検体を採取した。マニトバ州Winnipegの国立外来性動物疾患センターにて免疫組織抗体法で検査確定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www1.agric.gov.ab.ca/\$department/deptdocs.nsf/all/afs3781?open document	2003年5月に初めて確認されて以来、2例目のBSE症例がカナダのアルバータ州において最近発見された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	英国保健省, Press Release	2005年1月10日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med 2005/1/11	狂牛病のヒト感染型(vCJD)に罹患した男性が、合法的に実験的医学治療を受けることが認められた。治療薬のポリ硫酸ペントサンの使用許可を裁判所に申請。治療法がない患者とはみなされなくなった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Canadian Food Inspection Agency News Release, 2005年1月11日	カナダ食品検査局(CFIA)は2005年1月11日、カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7才未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA Newsroom Release No0007.05	動植物衛生検査局獣医部責任者Dr. Ron DeHavenの、米国での最初のBSE感染症例が、今回のウシと同じアルバータ州産集団由来であったことなどの声明。))
											E型肝炎	Pro Med 2005年1月7日	今年ムンバイ市内では、黄痘性E型肝炎ウイルス感染が、市の南部で猛威を振るっていると医療関係者が指摘している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information, Vol. 18 No.2 2005年1月14日	アウトブレイクは、2004年12月17日、Alberta州Edmonton地区の農場にて発生。98カ月令のホルスタイン種のウシと確定された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA TSE advisory committee 告知, 2005年2月8日	伝達性海綿状脳症(TSE)諮問委員会は、血漿由来製品における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)病原物質への暴露の可能性に関するリスク評価、英国在住のドナーの血漿から1990年代に製造された試験用血液凝固因子第XI因子のvCJDリスク、および、フランスおよび他のヨーロッパ諸国における輸血歴のある血液および血漿ドナーの据え置きの可能性について検討する会合予定を発表(2005年2月8日開催予定)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											感染	Daily Yomiuri 2005年1月11日	通常のスクリーニングの一環として、日本赤十字社は今後4週間献血者に胎盤エキス注射の使用歴について質問をする予定。胎盤エキスを注射した血液には伝染性の病原体が含まれる可能性があるため、最近、東京の女性が急性肝炎を発症したことから。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	カナダ公衆健康局2005年1月11日	2005年1月11日、カナダ食品検査局(CFIA)はカナダのウシにおける3症例目の牛海綿状脳症(BSE)を確定した。vCJDのQ&Aも記載。
											HIV	http://www.phac-aspc.gc.ca/aids-sida/hiv_aids/	2004年 HIV/AIDS戦略的アプローチに関するカナダの報告一対処の再開(2004年12月1日)、カナダ全国に対するHIV/AIDSアクションプランを共に導こう(2004年~2008年)(2003年11月14日更新)などが掲載されています。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	KATHIMERINI.オンライン版English Version 2005年1月19日	2004年前半に、ギリシャ国内のヤギ12頭が、脳変性疾患であるスクレービーに罹患したと確認された。この他8頭がキプロスで、26頭がフランスで確認された。これは2005年1月18日に公開されたEU統計により判明した。なおEU全域で検査されたヤギは17294頭。
											A型肝炎	Kaliningrad国営ラジオ・テレビオンライン版、2005年1月12日	2005年1月初旬以降、Kaliningrad地域Sovetsk市において(成人・小児合わせて)約30名が、A型肝炎に罹患した。大部分の感染者は、汚染された野菜やフルーツを摂取して感染した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information, Vol. 18 No. 3 2005年1月21日	2005年1月11日、アルバータ州のRed Deer地区の農場でBSEのアウトブレイクが確認されたウシのアウトブレイクの原因または感染源は、不明もしくは結論に到達していない。
											A型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No.4 (2005) 2005年1月27日	2004年第3四半期は、HPAのCommunicable Disease Surveillance Centre (CDSC)にA型肝炎の検査報告が131例されており2003年の第2四半期よりも46%少ないこと、2004年第2四半期に比べA型肝炎の総報告数は5%増加していることが述べられている。
											C型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No.4 (2005) 2005年1月27日	2004年第3四半期はHPAのCommunicable Disease Surveillance Centre (CDSC)にC型肝炎感染計1921例が報告されたこと、2004年4月~6月の年令別および性別の症例数を記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No. 4 (2005) 2005年1月27日	2004年第3四半期は、HPAのCommunicable Disease Surveillance Centre (CDSC)に急性B型肝炎感染計94例が報告されたこと、2004年7月～9月の年齢別および性別の症例数を記載。
											HIV感染、肝炎	HPS Weekly Report, Vol. 39, (2005/3), 22-23 (2005)	HIV: HIV/AIDSの疫学および治療。2002年末時点で世界で4200万例以上がHIVキャリアー。同年にサハラ以南のアフリカにおいて約2500万例が死亡。スコットランドのHIV感染症の大部分はサハラ以南出身のアフリカ諸国の男性と性交渉を持つ男性および異性愛の男女。肝炎: 肝炎の疫学および治療(世界で慢性B型肝炎のキャリアーが350万例以上、英国は流行の低い地域と考えられており、慢性B型肝炎の罹患率は0.1%以下、スコットランドでのC型肝炎は主に静注薬物使用者における伝播。
											HIV感染、C型肝炎	HPS Weekly Report, Vol.39, (2005/3) 21-22, (2005)	Scottish National Blood Transfusion Service (SNBTS)による献血血液の検査において278054の血液中計39で血液媒介感染症の陽性マーカーが確認されたこと、39件の感染血液はHCVが23件、HBVが8件、HIVが3件、過去の梅毒が5件であった。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/3),18-20 (2005)	2004年はHPAIにHIVの診断365件が報告され、過去最高。男性と性交渉を持つ男性(MSM)および異性愛者における診断は2003年より多く、MSMにおける診断数の増加の主な理由はHIV検査受診者の大幅な増加によること、異性愛者の男性および女性におけるHIV診断数の増加はHIVの感染率が高いサハラ以南(ジンバブエなど)からスコットランドにきた人々の増加によることなどを記載。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report, Vol.39, (2005/3), 10 (2005)	英国の1990年代における感染に関連したvCJDによるさらなる死亡は比較的少ない。英国におけるvCJDの発生は減少、リンパ網内系細胞組織の調査結果により、臨床データの予想よりも実質的に高いvCJD有病率が示された。現在のところvCJD症例の予測は不確実なままである(輸血を介した感染症例が最近確認されたことから)ことなどについて記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	HPS Weekly Report, Vol. 39, (2005/3), 9-17-2005	HIV報告数4119例, AIDS症例数1238例, 死亡総数1402例, AIDSによる死亡数854例, 2004年10月1日から2004年12月31日までの四半期に, NHSスコットランド研究所は以前はHIV陽性と登録されていなかった91名のHIV抗体検査陽性結果を報告した。現在のHIV陽性者の累積総数は4219例。少なくとも1402例が死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.phac-aspc.gc.ca/bid-bmi/dsd-dsm/ndmr-rmmdo/index.html	・2004年9月の地域別の法定伝染病数 (Preliminary)・法定伝染病の累計総数グラフ (2003年および2004年の1月~9月, 2004年9月) (Preliminary)・死亡年(2003年および2004年)ごとのCJD確定例数(2004年5月1日現在)などが記載されている。
											肝炎	Pro Med 2005年1月22日	Kottayam地区当局は, 死亡患者10名を含む最多の患者数を報告した。現地の医科大学では, 500名以上の肝炎患者を治療している。汚染された水源が肝炎感染拡大の主要な感染源。もしこの医科大学の貯水槽が汚染され, Kottayam地区での感染源になっているとすれば, 汚染された各地のため池がThrissur地区やAlappuzha地区の感染源である。Dr Jeevanによれば, [水源が確認できないため]飲食場所の急増を検査する必要がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Press Releases, 2005年2月2日	フランスのヤギにおけるBSEの初症例の発生が確定された。2004年11月にフランス当局がOIEに対し, 2002年に処分された際に2.5才であった問題のヤギについて報告したこと, 一緒に飼育されていた600頭のヤギ(成体のヤギ300頭を含む)は全て処分され, 成体のヤギはスクレイピーについて検査されたが結果は陰性であったこと, 感染したヤギから単離されたスクレイピーはさらに調査が進められていることなどが記載されている。
											感染	European Medicines Agency, Evaluation of Medicines for Human Use. 2005年1月20日	血液伝播性感染症についての疫学的データに関するガイドライン; 感染症マーカー, ドナーのクラス分類, 感染症マーカーのデータの報告, ドナーについての疫学調査と長期的傾向, 残存危険性の評価についてなど記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV感染、肝炎	MMWR Weekly, Vol.54 No.04 89 (2005)	毎年2月7日はNational Black HIV/AIDS Awareness and Information Dayであること、2000-2003年に、米国32州において黒人は人口の13%であったが、これらの州で新たにHIV/AIDS診断された半数以上が黒人であったこと、すべての人種/民族において黒人男性が最もHIV/AIDS診断率が高かったこと、黒人女性も深刻な影響を受けており、2000-2003年にHIV/AIDS診断された女性の約69%が黒人であったことなどについて記載。
											HIV感染、肝炎	MMWR Weekly, Vol.54 No.04, 89-94 (2005)	2003年、米国におけるHIV/AIDS症例の28%が女性で、その約69%が非ヒスパニック系黒人女性であったこと、ノースカロライナ州では新たに報告されたHIV感染の黒人女性における割合が増加し、同州の黒人女性のHIV感染率が白人女性と比較して14倍高かったこと、HIV陽性の女性(ケース群)およびHIV陰性の女性(コントロール群)の行動の違い(薬物、アルコールの使用など)についての調査結果などについて記載。
											肝炎	MMWR Weekly, Vol.54 No.04, 101-111 (2005)	2005年1月29日を最終日とする4つの図表によって示されている。①伝染病別増減率、②伝染病別症例数と前年同期の症例数、③地域別症例数と前年同期症例数。④地域別、年齢別死亡数。
											C型肝炎	CDR Weekly, Vol. 15 No.5 (2005)	CFIIにより調整された、第2期C型肝炎の再調査が完了した。2003年の最初の調査において、C型肝炎感染医療従事者(HCW)によりリスクの高い暴露的手技(EPP)が実施された500名の女性が調査され、調査に含まれなかった患者1例がC型肝炎と判明。今回はリスクの高いEPPが実施された住所が分かっている患者2530例および担当した一般医に対して、状況説明およびC型肝炎の血液検査を提案するレターが送付された。
											肝炎	NOIDS Weekly Report, 2005年1月21日	イングランドとウェールズの届出伝染病週報(2005年1月21日までの情報)。29種の届出伝染病について、過去2年間の同時期または最近6週間と比較したデータ、2005年第3週の地域別詳細データなどが報告されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39, (2005/3), 11-18 (2005)	スコットランドにおける累計はHIV報告数4219例、AIDS症例数1238例、死亡総数1402例、AIDSによる死亡数854例;2004年の第4四半期に、91名のHIV抗体検査陽性結果が報告された。同四半期に臨床医よりAIDS症例3例が報告され、AIDSによる1例の死亡が記録された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med 2005年2月3日	フランスのヤギがBSEに罹患したことが確定された。EU加盟国は、EUで飼育されるヤギに対してBSE検査を強化するとして欧州委員会による提案に同意した。オーストラリア産ヤギも検査される可能性が出ている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med 2005年1月25日	2002年にフランスで屠殺されたヤギが狂牛病検査陽性となり、ウシ以外で動物でウシ海綿状脳症(BSE)に感染した世界で初めての動物となった。ヨーロッパ会議はこの症例が単発例であることを確認するための詳しい検査を実施する予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	感染症週報:7(3)2 (2005)	2005年第3週は、E型肝炎1例、A型肝炎4例、ウイルス性肝炎5例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、後天性免疫不全症候群17例。定点報告の対象となる5類感染症では、過去5年間の同時期と比較したグラフ等が掲載されている。
											HIV	感染症週報:7(3)13-14 (2005)	・日本のAIDS患者・HIV感染者の状況(平成16年9月27日~平成17年1月2日):平成16年第4四半期報告によれば、法定報告に基づく新規報告数は、HIV感染者が190件、エイズ患者が93件であった。過去最高であった前回報告からは数字の上では減少している。性別、感染経路などについても報告している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information, Vol.18 No. 5 2005年2月4日	フランスでの、BSEの原因である病原性プリオンタンパク質が同定された。成体のヤギ300頭を含む搾乳用ヤギ群で発見されたヤギのBSE症例1例が発見された。症例は2005年1月28日にOIEのBSEリファレンス研究所などにより確定された。原因は、不明もしくは結論に到達していない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	http://www.blackaidsday.org/NBHAAD_info_home.htm	Fact Sheetには米国では現在推定80万～90万人のHIV感染症症例があり、毎年約4万人がHIVに新たに感染していること、米国において報告されているAIDS症例数(2000年12月現在774467例)、AIDSによる死亡症例数(2000年12月までに448060例)、AIDS症例および死亡の減少の減速などについて記載されています。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/PublicationsAndStatistics/PressReleases/PressReleasesNotices/fs/en?CONTENT_ID=4102771&hk=ct891z	2005年2月4日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要。死亡症例、生存症例について
											C型肝炎	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/5) 36 (2005)	NHS Ayrshire and Arran(NHSAA)はかつてAyrshire Central and Crosshouse Hospitalsの産婦人科に勤務していた医療従事者がC型肝炎と判明したことを395名の患者に通知し、血液媒介ウイルスへの感染の有無が英国諮問委員会によって実施された。通知されたグループ以外からC型肝炎ウイルスに感染している元患者が判明し、この医療従事者からの感染による可能性があることなどが記載されている。
											肝炎	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/05) 34-35 (2005)	2004年にA型肝炎が34件報告され2003年の報告数より23%減少していたことが述べられている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://home.kyodo.co.jp/all/display.jsp?an=20050204911	厚生労働省は2005年2月4日、日本で初の変異型ヤコブ病(vCJD)を確定したと公表した。この日本人男性患者は2004年12月に既に死亡しており、1989年の約1ヵ月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.aabb.org/Pressroom/In_the_News/new2-11.htm	寝たきりの50代の日本人男性は、ヒト変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)が原因で最近死亡した際には動いたり歩行することはできなかった:
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, Vol. 15 No.6 (2005)	E型肝炎(日本)、ヤギにおけるBSE(フランス)、などについて記載されています。